

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和2年度)

調査表

施設名	県立平和台公園・宮崎県総合文化公園
指定管理者	株式会社馬原造園建設
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)
県所管部課	県土整備部 都市計画課 美しい宮崎づくり推進室

1 施設利用状況

指 標	R2	R1	H30	増減理由等
平和台公園(単位:人)	51,921	55,841	38,772	平和台公園は、新型コロナの影響で平和の塔などを目的とした観光客が減少したと考えられる。文化公園は、新型コロナの感染症対策で団体利用の使用申請を停止にしたことで利用者が減少したと考えられる。
総合文化公園(単位:人)	50,374	52,701	55,110	
コ メ ン ト	両公園とも、園芸教室や植栽教室など様々なイベントを開催し、魅力向上に努めている。天候などの状況により利用者が増減する傾向にあるが、利用者のニーズを把握し管理運営を行っている。引き続き、利用者増加に繋がる幅広い事業の展開が期待される。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R2	R1	H30	支 出	R2	R1	H30
指定管理料	90,444	90,444	88,800	人件費	54,079	54,380	51,154
自主事業等	202	596	459	需要費・役務費	12,579	13,014	13,025
				委託料・使用料等	15,686	14,545	15,398
				経費	6,972	6,894	6,637
				自主事業等支出	909	1,675	1,968
合 計(①)	90,646	91,040	89,259	合 計(②)	90,225	90,508	88,182
収支差額(①-②)	421	532	1,077				
コ メ ン ト	社員体制の見直しを実施したり、展望台警備を自社スタッフで対応するなど費用の縮減を図っている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和2年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容	
維持 管理 業務	清 掃	園内清掃、トイレ清掃、管理事務所・はにわ館清掃、照明器具清掃、集水枡清掃、園路洗浄
	保守・点検	遊具点検(専門業者年3回、通常点検月1回)浄化槽点検(適時)、照明及びタイマー点検(月1回)等
	警 備	巡回パトロール(2回/日)・夜間巡回警備
	修 繕	園路、トイレ手洗いセンサー、水銀灯、遊具、ベンチ等の修繕
	備品等管理	備品点検(1回/月)、備品台帳による管理
	安全対策	安全会議・公園非常管理マニュアル勉強会(1回/月)、近隣小学校PTAとの連携による「おたすけハウス」加入、公園ハザードマップの随時更新、支障樹木・枝等の剪定
	その他	植栽管理業務(樹木・芝・花壇等)、動物飼育業務(鳩)、施設維持管理業務(園路・遊具・トイレ他)
企 画 運 営 業 務	サービス提供 体制整備	利用者アンケート調査、憩いグッズ(パドミントンセット、縄跳び、ブルーシート等)の貸出、職員研修実施、公園運営管理情報システムの活用
	イベント等 ソフト面充実	花の無料配布、ツリーイング体験会、フラワーアレンジメント教室、苔玉づくり教室、観望会、公園マップの改訂、HP作成・更新等
	施設設備等 ハード面充実	レストハウス周辺携帯電話用アンテナ設置、管理事務所不在時の職員転送電話(緊急時体制の充実)、文化公園トイレに意見交換掲示板設置
	その他	自主事業時のアンケート実施、公園ボランティア協議会、レストハウス協議会、文化公園3館協議会、花菖蒲ネットワークづくり、パークマスター友の会
管理運営体制	有資格者の適正な配置(造園施工管理技士、土木施工管理技士、ピオトープ)、資格取得に向けた研修会参加、個人情報保護教育	
コ メ ン ト	来園者アンケートやイベント時のアンケートなどを実施し、公園利用者のニーズを迅速かつ的確に把握している。また、職場体験や就労体験などを行うなどして、県民との協働にも積極的である。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	来園者アンケート調査、イベント時アンケート調査
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
(平和台公園)県外から観光で来園した男性が、展望デッキ入口の鍵を外し無断侵入していた。	厳重に注意を行った。
(文化公園)公園からの落葉が住宅地に飛んできて、毎日の掃除が大変である。	管理スタッフが外周園路清掃時に、一緒に落ち葉清掃を行った。

5 総合評価

評価コメント	利用者の要望や苦情などの把握に努め、利用者サービスの向上に繋げる努力を行っている。適正な管理運営が行われている。
今後の課題と対応	総合文化公園は、県立劇場等の施設管理者とのより一体的な管理を行っていくことが求められる。また、両公園の相互連携を図っていくことが期待される。